

## 第10回 新宿区基本構想審議会 議事（メモ）

日時：平成18年11月20日（月）13時30分～16時30分

場所：区役所5階大会議室

出席者：委員25名

（凡例：区民委員、学識委員、区議会委員、事務局（区・コソカ））

議事：

### 【A（～章）グループの議論】（17名）

（グループ議論後の報告）

主に以下の議論があった。

<学校教育について>（3）

・学校教育を施策として強調すべき。また、地域と学校、行政の連携を強調すべき。

<青少年について>（3）

・青少年に対する施策をどこに位置づけるか。「教育」か、「子育て」か、「生涯学習」か。

<外国人について>（2）

・新宿区には外国人が多いので外国人施策は前面に打ち出し、個別目標としたらどうか。

・平和、国際化の項目がないので、それを施策とし、そこに外国人関連を位置づけたらどうか。

### 【B（～章）グループの議論】（8名）

<住宅施策について>（2）

集合住宅の居住者が地域と孤立しないよう、管理人の在住等の管理のルールをつくるべき。

独居高齢者への対策などソフト面での住宅施策が不十分。

住宅施策はコミュニティとの調和が求められている。

<商店街の活性化について>（2）

新宿は場のポテンシャルがあるので、商店街の将来のあるべき姿を基本構想に位置づけるべき。

解散する商店街があるが、将来に向けて生き延びる方策を考えるべきだ。

<若者文化の支援について>（2）

若者による自主的な文化活動を評価し、資産（知的所有権等）として保障するしくみが必要。その時、行政は寛容でないとうまくいかない。

若者が活躍できる場の提供や拠点の整備が重要

まちの中に広場を作っていくことが大事。公開空地等の小空間をもっと利用できるようにすべき。

区がモア4番街に12本の街路灯と4つの花壇を新設した。

・歌舞伎町ミュージック・プロムナードとしてシネシティ等での演奏バンドを募集したら多くの申し込みがあった。若者にとって「新宿ブランド」があるということ。問題は行政による規制があることであり、規制がなければ色々なことができるだろう。

<自転車利用の促進について>（1）

都市内移動には自転車が最適。自転車利用を積極的に展開できないか。

自転車レーン日本では普及していないが、外国では交通量を予測しながら車道を狭めることでレーンを設けている。

歩道を自転車がスピードを出して危険な面もある。

<エコマネーについて>

エコマネーを公益活動の推進の視点から 章に位置付けてほしい。

<みどりについて> ( 1 、 3 )

緑被率が減少しているが、基本構想・計画で「みどりを確実に増やす」と強く打ち出してほしい。

<ゴミ・リサイクルについて> ( 3 )

「ゴミの減量とリサイクル・・・」とあるが、そもそもゴミとならないよ生産者が責任を持って対応すべきだ。

#### 【起草部会からの提案】

- 1 - 1 区政運営の基本姿勢
- 1 - 2 協働リーディング・プロジェクト
- 1 - 3 区民と専門家等によるチェックのしくみ

(提案：資料説明)

<協働リーディング・プロジェクトについて>

子どもが考え意見を言う場を設けることは重要であり、素晴らしいこと。

子どもの参画をしっかりと位置づけてもらってうれしい。

今までのように子どもを無理やり引っ張ってくるのではだめ。

#### 「めざすまちの姿」について

2 番目の「わたしたちが創る子どもたちの未来,美しく持続可能なまち・新宿」が理想的にはよい。

人口を保つためには子どもの施策が重要なので、私も 2 番目の案が大好き。また、「ともに創る」とした方がよい。

#### その他

今まで審議会が出た意見や区民会議の提言を踏まえて 11 月 30 日の起草部会で提示した案を組み立て直し、次回 12 月 5 日の審議会に骨子原案として提案する。

- ・提言書の小項目の骨子案への反映状況について、骨子案とは別に資料として提示する。
- ・基本計画と合体する都市マスタープランを審議している都市計画審議会と大筋で合意しているため、基本目標の 6 章立てについては変えるのは難しい。表現が変わることはある。

(以上)